

I. 研究の目的・目指す児童の姿

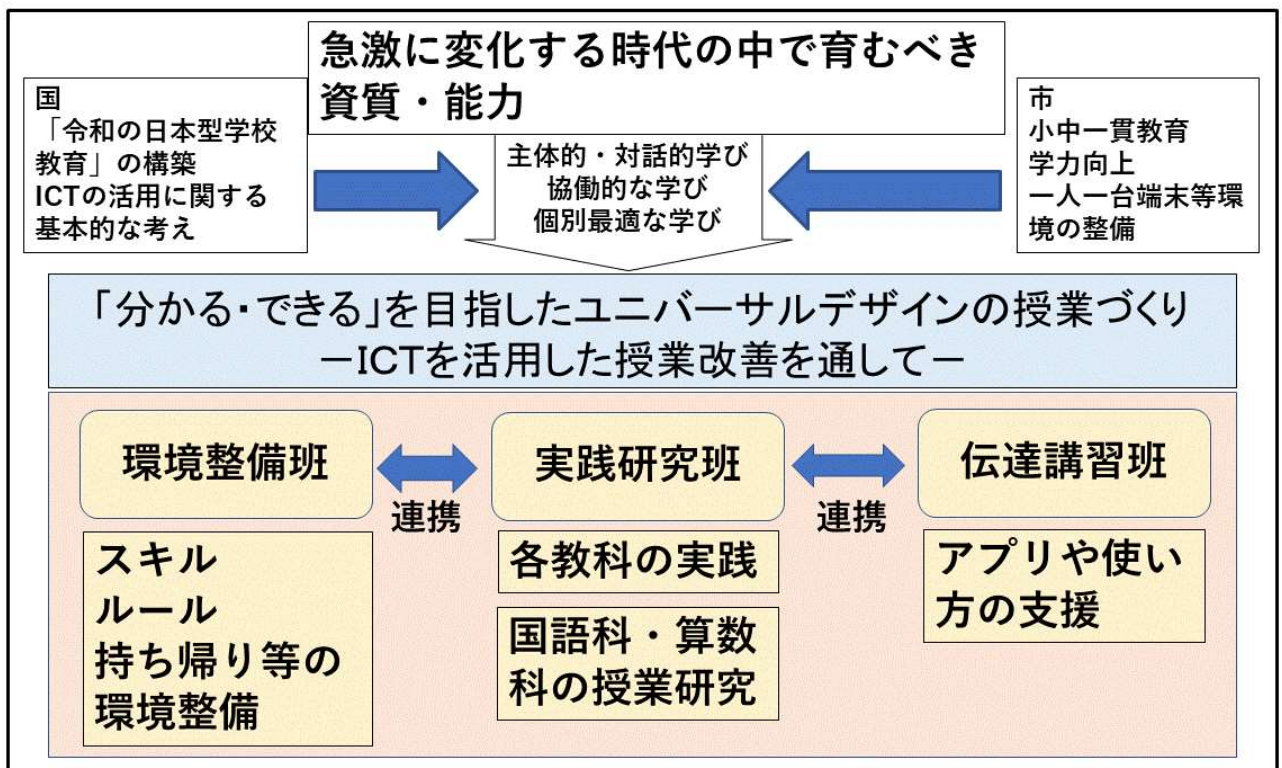
研究の目的

ICTを全職員、全児童が活用できるように環境面、授業面、技能面の研究を進め、全児童が「分かる・できる」と言える授業づくりを進める。

目指す児童の姿

- ・理解が早い児童も支援が必要な児童も「全員」その時間のねらいに到達できる。
- ・児童全員が、それぞれの力に応じて十分力を発揮したものが表現できる。

II. 研究構想図



主な研究内容	1年次	2年次
ICT環境の整備	→	
ICTの使い方の周知	→	
全教師による授業改善	→	

Ⅲ. 研究の実際

実践研究班

「分かる・できる」ためのICTを活用した指導方法の工夫

各教科の実践

西小学校の授業づくりの考え方

実践研究班

分かりやすく

ICT

- ・課題の提示
- ・考えの可視化
- ・比較・分類等

発問

- ・考えやすい
- ・考えたくなる
- ・ずれを生み出す発問

可視化した交流

思考の焦点化

往還させながら

自分の考えを表現でき、自分の進め方で解決できる

個別最適な学び



往還させながら進める

友達と考えを交流しやすい場で自分の考えを高められる

協働的な学び

子ども主体で

問題解決的な思考

子どもが自分達の思いをもとに様々な方法で進めていく

「付けたい力」を意識

「付けたい力」を意識させながら学びをつないでいく

「ふりかえり」で調整

毎時間の学びを全体の学びと絡めて調整する

わかる！
できる！



国語科・算数科等の授業研究（全体）

指導案
QRコード



視点1

学ばせたいところを可視化することは有効か

視点2

協働的な学びは支援を要する児童に有効か

視点3

子どもが主役となる授業づくり

算数科（6月）

改善

国語科や他の教科
（11月）



【5年算数科の授業の様子】

項目	実践	良かった点	改善点
実践1	ICTを活用した授業づくり 発表 学ばせたいところを可視化 発表を学ぶことは、学びにつながる 発表も有効か	タブレットで 図解 発表 発表を学ぶことは、学びにつながる 発表も有効か	発表を学ぶことは、学びにつながる 発表も有効か
実践2	ICTを活用した授業づくり 発表 協働的な学びは、支援を要する 児童に有効か	式と文章（言葉）がわかり、 発表を学ぶことは、学びにつながる 発表も有効か	発表を学ぶことは、学びにつながる 発表も有効か
実践3	子どもが主役となる授業づくり 発表 子どもが主役となる授業づくり 発表 子どもが主役となる授業づくり	発表 子どもが主役となる授業づくり 発表 子どもが主役となる授業づくり	発表 子どもが主役となる授業づくり 発表 子どもが主役となる授業づくり

【5年協議会での感想シート】

研究班員による模 擬授業（8月）

各学年個人での実 践計画（9月）

実践（9月 ～12月）

1年生

- 【国語科】まちがいをなおそう（1/2）ジャムボード
- ・文章の中から表記の間違ひを見つけ、「は」「を」「へ」が書かれた付箋を動かし、間違ひを直す。
- 【算数科】かたちづくり（2/5）ジャムボード
- ・色板を操作し、影絵が色板何枚でできるか考える。



2年生

- 【算数科】かけ算（1）ジャムボード
- ・ジャムボードの背景に、遊園地の挿絵を貼り、まともりごとに印を付けさせる。
- ・数図ブロックを操作し、「何個のいくつ分」かを考えさせる。
- ・数図ブロックで並べた考え方を、タブレットを使って、図に表してみる。
- 【国語科】「かたかなで書くことば」ジャムボード
- ・絵の中の言葉を使って、カタカナで書く言葉が入った文を作る。→ジャムボードの付箋に書き、貼り付ける。（いくつでもよい）
- ・友達が作った文を見る時間を設定し、グループごとに感想を交流させる。



5年生

- 【社会科】「これからの食料生産」ジャムボード
- ・教科書に記載されているグラフや資料を直接見せるとヒントがたくさんあるため、ジャムボードにグラフや資料のみを貼り付けて、読み取る力をつけさせる。
- 【図画工作科】「動きの不思議」
- ・人の動きや動作に着目してそれを絵にあらわす単元で、教科書の絵や前もって撮っておいたいろいろな動きの動画をテレビにうつすことで、絵を大きく1枚1枚提示できる、何度も繰り返し見ることができる、描いた絵がその動きをあらわしているかをフィードバックできる、といったメリットがある。
- 【理科】「とじこめた空気や水」ジャムボード
- ・とじこめた空気の中にスポンジや煙などを入れて圧縮したとき、どうなるのか予想させる時間で、選択肢をあたえるのではなく、ジャムボードへ自由に書き込ませることでそれぞれの言葉で自由に表現する力をつけることができる。

3年生

- 【理科】「かげと太陽」（2/9）ジャムボード
- ・グループで撮影した影の写真を共有する。
- ・ジャムボードに写真を並べさせる。
- ・拡大機能を使って写真を拡大し、詳しく観察させる。
- ・付箋機能を活用して、影について気付いたことを記入させる。
- ・差異点や共通点を基に、自動一人ひとりが問題を見だし、記入する。
- 【社会科】「店ではたらく人々の仕事」（3/12）ジャムボード
- ・スーパーマーケットの工夫を予想する。
- ・ジャムボードにスーパーマーケットの絵を張り付けておき、工夫に気付いたら赤のペンで○をする。
- ・なぜそう思ったのか黄色の付箋に書く。
- ・青の付箋で疑問に思った事を書く。



4年生

- 【国語科】「世界にほこる和紙」ジャムボード
- ・要約につながるキーワードを読み取り、ジャムボードで付箋に記入する。
- ・リーフレットを作るために、筆者の説明の工夫を読み取り、ジャムボードで付箋に記入する。
- 【特別の教科道徳】公正/公平
- ・現時点において、クラスの友達と分け隔てなく接しようとしているか、フォームにて事前にアンケートを行う。
- 【算数科】「図を使って考えよう」ジャムボード
- ・図を使った思考において、作図の時間削減や学力の低い児童のためのスモールステップをジャムボードで作成。図の枠を背景に設定し、項目や数をテキストボックスで動かすことができるようにする。

6年生

- 【国語科】「鳥獣戯画を読む」スライド
- ・鳥獣戯画の絵をスライドの背景に設定して、コメントに気づいたことを書き込む
- 【特別の教科道徳】「手品師」フォーム・ジャムボード
- ・フォームで児童の立場を集約する。
- ・ジャムボードで自分の立場を示して様々な人と意見を交流する。
- 【外国語】「オリジナルカレーを発表しよう」スライド
- ・スライドで発表カードを作成させる。
- ・発表の様子を動画で撮影し、振り返りや評価に使う。
- 【体育科】「フラグフットボール」ジャムボード
- ・ジャムボードで作戦をたてさせる。
- ・フォームで振り返りをさせ、個人評価を行う。
- 【理科】「水溶液の性質」スプレッドシート
- ・実験結果をスプレッドシートに班ごとに記入させ共有する。
- ・水溶液を確かめる方法についてチャートで示す

伝達講習班

タブレットの機能やアプリを全児童・全職員で活用できる研究



互いに教え合う研修

自分たちでアプリの使い方を分担して、ワークショップ形式で講座を行った。

- グーグルスライド
- クラスルーム
- グーグルジャムボード
- グーグルフォーム



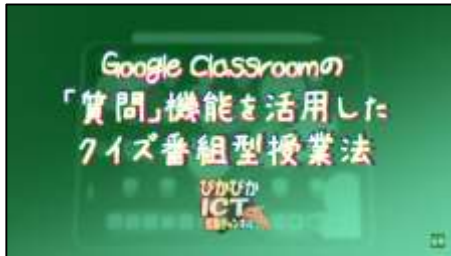
【ラーニングピラミッドのイメージ図】



【研修したアプリ】

【研修の様子】

【ジャムボードの研修】



【クラスルームの研修】



【フォームの研修】



【スライドの研修】

環境整備班

ICTが全児童・全職員が活用できる環境の整備



情報モラル年計と教材QRコード

情報モラルに視点をおいた研修

情報モラルの学年の系統を考えた整理

年計への位置づけ

情報モラルの取組

情報モラル指導カリキュラム案														
学年	領域	分野	校種	学年	コード	指導事項	学年項目						主な指導内容・学習活動・リンク等	
							小学校	1	2	3	4	5		6
1年生	心	情報社会の倫理	小	低	a1-1	約束や決まりを守る								幼小タブレットのきまりを確認する(生活4月)
						知らない人に連絡先を教えない							ざわざわ森のがんこちゃん「みえないおともだち？」 https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005130183_00000 (生活9月)	
						決められた利用の時間や約束を守る							銀河紙船パンタくん「朝も昼も夜もあそびたい！」 https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005130247_00000 (学活2月)	
知	分野	校種	小	低	d1-1	大人と一緒に使い、危険に近づかない							ママのスマホを勝手にさわらダメ！【動画教材】 https://www.it-saga.jp/youzai/mama-app/	
												軽い気持ちのID交換から【スライド教材】 https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afiledfile/2016/07/01/1373562_05.pdf		

【情報モラル指導カリキュラム（一部抜粋）】



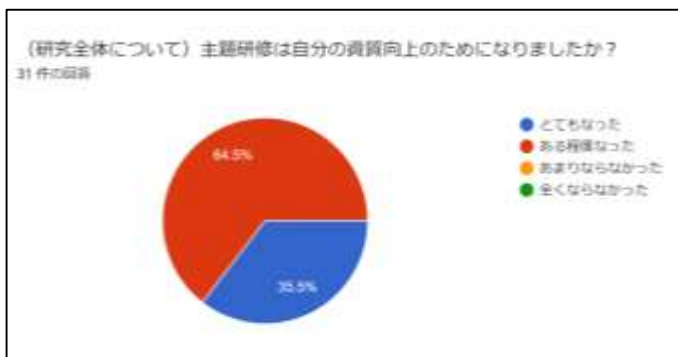
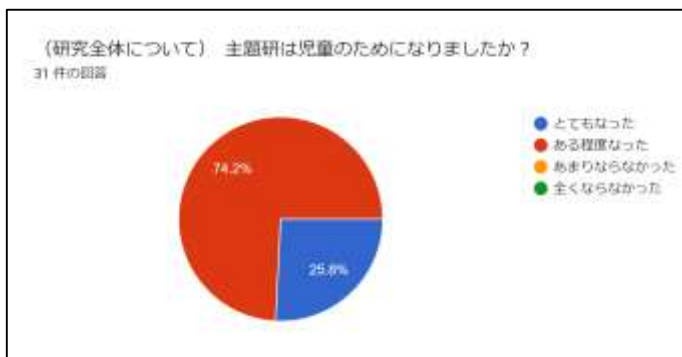
IV. 研究の成果と課題

1 CRT学力調査から 2 観点（知識・思考）平均の全国比 ↑ 同じか ↓ 下

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
国語	↑	↓	↑	↓	↑	↑
算数	↑	↑	↑	↑	↑	↑

※ 数値を矢印の長さで表しています。

2 意識調査から



3 成果と課題まとめ

- CRT学力調査で見ると、全学年、国語・算数ともに全国平均を越えているかほぼ同じ成績である。
- 昨年度より、評定3の児童が全国平均よりも多くなり、評定1の児童が減っている学年が増えている。
- 研修では、ICTの使い方や活用方法などを共有して進めたことにより、授業の中で活用することができた。
- 今後ICTをより効果的に活用した授業の展開を考える必要がある。